

EXCEL で切手を楽しむ (2)

やさしい DATABASE を使う

小川 義博

パソコン郵趣研究会報 79 号で「EXCEL で切手を楽しむ」と題して日本切手の電子カタログを紹介させていただきました。日本電子カタログより、その一部を使用した簡単な DATABASE に関心を持たれる方が多くおられたようです。

そこで、前号記事の後半で触れた EXCEL を使用する DATABASE を皆様を紹介し、切手趣味を充実させる一助となればと考えます。DATABASE は前号記事から大体その内容を感じとられていると思いますので、DATABASE の内容説明は後回しにして、先に、PC への組み込みから紹介していきます。

必要環境 Windows 7 以上 EXCEL 2007 以上
使用 FILE EXCEL DATABASE.xmlms

0000.jpg(白い画像 file) マクロ作業上必要
DATABASE のテーマを決めておいてください。
この記事では日本の国宝切手を調べるとして
テーマを**国宝切手**とします。

A. 使用準備

1. FILE の組込場所の準備 → 2 つの FILE を組込むフォルダーの作成

まず、どのドライブにするかを決めて、そのドライブのアルファベットをおぼえておいて下さい。ここでは **H** とします。ドライブのルートディレクトリ (最上階層のディレクトリ = フォルダー) にテーマ名のフォルダーを作ります。

① ドライブを選択

エクスプローラーを開くと、図 1 が表示されます。**目的ドライブ H** をクリック。

② フォルダーを作る

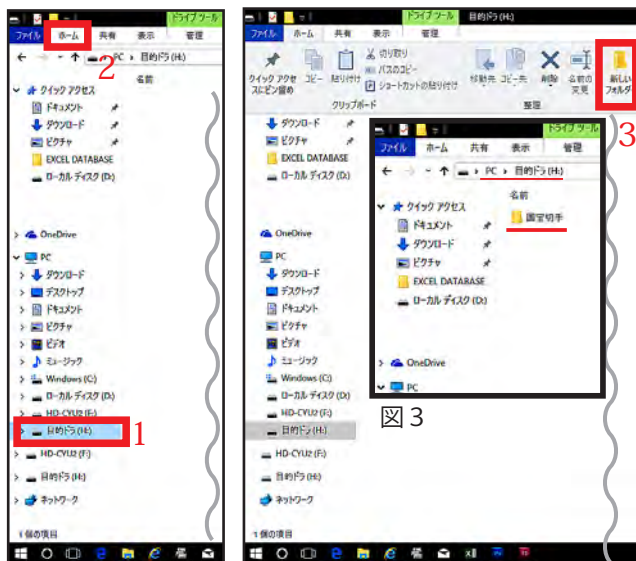


図 1

図 2

エクスプローラーでの作業

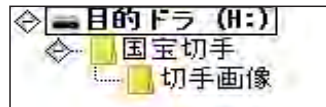


図 4 FOLDER の階層的表示



図 5 C ドライブに組み込んだ時の表示

上のバーの **ホーム** をクリックします。図 2 が表示され、新しいフォルダーをクリックし、フォルダー名を求められたら、テーマの**国宝切手**と入力します。すると、図 3 のようになります。

③ 国宝切手フォルダに切手画像フォルダーを作る

図 3 の画面の**国宝切手**フォルダーをクリックします。ここでまた、**ホーム** と新しいフォルダーをクリックして**切手画像**と入力します。これで組込場所 = ドライブ、フォルダーが完成です。これを階層的に図示すると図 4 のようになります。図 5 は C ドライブに組み込んだ PC の一例です。

2. 実行 FILE の作成

EXCEL DATABASE.xmlms を ① で作成した**国宝切手**フォルダーに、p 0000.jpg を ③ で作成した**切手画像**フォルダーにコピーします。そして、**国宝切手**フォルダーにコピーした EXCEL DATABASE.xmlms の名前を**国宝切手.xmlms** に変えます。エクスプローラーで**国宝切手**フォルダーにコピーした EXCEL DATABASE.xmlms を右クリックし、**名前の変更**をクリックし**国宝切手.xmlms** と入力してください。

これで実行 FILE の準備が始められます。まず、**国宝切手.xmlms** を開いてください。開いた画面下のシート見出し (図 6) の**作業環境等**のシートをクリックすると、図 7 のような表を示す画面になります。(作業環境等というシートを選択した画面です。)



図 6 国宝切手.xls のシート見出し

	入力列	作業環境
ドライブ		
実行プロフォルダ	基本FOLDER	:Y
テーマ		:YY.XLS
画像フォルダ	画像場所	:YY切手画像
切手の高さ	250	

図 7 作業環境等シート初期画面

	入力例	作業環境
ドライブ	H	
実行プロフォルダ	基本FOLDER	H:\Y国宝切手
テーマ	国宝切手	H:\Y国宝切手\Y国宝切手.XLS
画像フォルダ	画像場所	H:\Y国宝切手\Y切手画像
切手の高さ	250	

図8 作業環境等シート 入力後画面

まず、画面の緑色のセル(四角枠)に入力します。今回の、ドライブはH、テーマは**国宝切手**を入力します。すると、図8のように作業環境等画面が入力した作業環境に変わった画面になります。緑色のセルの内容は後で変更しないでください。エラーが生じます。

3. セキュリティーレベルの変更

このDATABASEはマクロというプログラムで動きまわります。このマクロが時に悪用されウイルスが作られることがあり通常はマクロは使えなくなっています。これを使えるようにする手続きが必要です(図9)。



図9 セキュリティーレベル変更手続きの順序 EXCEL2016

これで実行FILEが完成、DATABASEの**国宝切手.xlsx**は使用できます。10種ぐらいの切手の3~4項目程度の文字DATAを入力し、切手画像file(jpg)を切手画像フォルダに用意して検索、画像表示ができるか試してください。1枚の切手に2種の画像ファイルを入力できます。画像は何でも可能ですが、一般的には1種は切手画像、別の1種は補足説明用の画像として、プルーフ・MC・FDCなどの郵趣品や、絵はがき、写真・書籍図版などの資料が考えられます。画像指定セル欄が未入力だとエラーとなります。画像が無い時は0000.jpgと入力してください。

他のどの項目セルも空欄で構いません。不明の事項は空欄のままDATAを入力しておいてかまいません。虫食い状態のDATA行列でいいのです。

このように、EXCEL DATABASE.xlsxmと0000.jpgを保存してあれば、短時間で必要とするテーマのDATABASEを作れます。私はドイツ切手、オーストリア切手、マーチン切手などのデータ数の少ない幾つかのDATABASEを楽しんでいます。

ここからはDATABASEの内容を述べていきます。試行して問題ないものができていれば、国宝切手という語を希望切手名にして作成してみてください。

B. EXCEL DATABASE.xlsxm の紹介

EXCEL DATABASE.xlsxm の構成

扱えるDATA数は20,000行、項目数は30列まで可能です。EXCELは何枚かのシートで構成されていることはご存知だと思います。EXCEL DATABASE.xlsxmは前述の6つのシートで構成されています。作業環境等、資料DATA、検索、検索画像、補足修正、ノイズのシートです。各シート、そしてボタン、ショートカットキーの機能を説明します。

1. 作業環境等シート

このシートはEXCEL DATABASE.xlsxmを動かす作業環境等を指定する大切なシートですが、画面は小さな表、ショートカットの説明があるだけです。もう、既に、実行FILEの準備・立ち上げで説明済みです。とても大切なシートで、少しでも別の入力、変更があると画像入力、出力が出来なくなりなります。

2. 資料DATAシート

このシートは各切手の文字DATAを入力、記録するシートです。また、1枚ずつ切手画像を確認できるシートでもあります。図10のようなDATA行列を作るシートです。各行毎、縦に切手を当てます。列はA列からAD列まで横に30の列を項目に使用します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
4	no	検索対象	画像FILE1	画像FILE2	切手種類	額面	発行年	名称	KEYWORD1
5									
6									
7									
8									

図10 資料DATAシート

項目名を自由に設定

列のうちA~Dの4列は入力事項は決められていますから、その内容を入力します。E~AC列の25列は項目と表示されていますが、ここは使用する方が自由に決められます。この25列が検索対象になりますから、keywordを入力していくことになります。なお、A、I、J列は検索画像シートの画像説明キャプションとなるため、適切なKeyword入力に留意してください。

図12 資料 DATA シートで切手画像を確認

No.	検索対象	画像FILE1	画像FILE2	種類	額面	発行年	切手の通称	意匠	Keyword1	Keyword2	Keyword3	Keyword4	Keyword5
5	1100	110001.jpg	110002.jpg	10円	1960年	1960年	1960切手趣味週間	三十歌仙絵巻	伊勢	伊勢	伊勢	伊勢	伊勢
6	1000	100001.jpg	100002.jpg	10円	1962年	1962年	1962切手趣味週間	花下遊園図屏風	狩野長信	六曲一双	左隻三四扇	右隻三四扇	12世紀前半
7	1000	100001.jpg	100002.jpg	10円	1964年	1964年	1964切手趣味週間	源氏物語絵巻	宿木	国宝	源氏物語絵巻	12世紀前半	資料準備
8	402	040201.jpg	040202.jpg	10円	1964年	1964年	姫路城修理完成	姫路城・城	建築物	国宝	資料準備		
9	492	049201.jpg	049202.jpg	15円	1967年	1967年	第1次国宝シリーズ	飛鳥	百済観音	広隆寺	資料準備		
10	483	048301.jpg	048302.jpg	15円	1967年	1967年	第1次国宝シリーズ	飛鳥	法隆寺金堂	209cm	国宝		
11	494	049401.jpg	049402.jpg	15円	1967年	1967年	第1次国宝シリーズ	飛鳥	法隆寺金堂	209cm	国宝		

図12 資料 DATA シートで切手画像を確認

図11 資料 DATA シート入力済み画面

4	no.	検索対象	画像FILE1	画像FILE2	種類	額面	発行年	名務	KEYWORD01	KEYWORD02
5	1	対象	110001.jpg	110002.jpg	特殊切手	10円	1960年	1960切手趣味週間	三十歌仙絵巻	伊勢
6	2	対象	100001.jpg	100002.jpg	特殊切手	10円	1962年	1962切手趣味週間	花下遊園図屏風	狩野長信
7	3	対象	100001.jpg	100002.jpg	特殊切手	10円	1964年	1964切手趣味週間	源氏物語絵巻	宿木
8	4	対象	040201.jpg	040202.jpg	特殊切手	10円	1964年	姫路城修理完成	姫路城・城	建築物
9	5	対象	049201.jpg	049202.jpg	特殊切手	15円	1967年	第1次国宝シリーズ	飛鳥	百済観音
10	6	対象	048301.jpg	048302.jpg	特殊切手	15円	1967年	第1次国宝シリーズ	飛鳥	法隆寺
11	7	対象	049401.jpg	049402.jpg	特殊切手	50円	1967年	第1次国宝シリーズ	飛鳥	法隆寺

図11 資料 DATA シート入力済み画面

最後のAD列は”備考・検索外”と、なっているように、検索対象外ですから、検索の邪魔になってしまう文章の記録、備考、メモ等を入力します。

イメージいただきやすように入力の一列を図11に示します。図11の様に項目欄は自由に決められます。国名、意匠、意匠作者、発行年、銘版、SCOT No.、切手購入先、保管アルバム番号等、使う方の収集対象、使用目的で項目名は自由にできます。No.の列にサクラ切手カタログ、SCOTカタログのように数字の前に文字を付けたカタログ番号入力は注意が必要です。EXCELは文字の付いた数字を順序数に扱ってくれませ

ん。0を文字と数字の間に入れて同じ文字数(けたすう)にしてください。S1はS0001、S10はS0010のようにです。使い慣れてEXCELの本来の機能を利用できるようになると、この設定が使い勝手を左右します。また、列幅は入力内容に見合っ変更することが可能です。

画像DATA・FILEが準備できていれば、画像をこのシートに表示できます。例えば、図11で10行目のこのセルをクリックしても所定のキーボード操作(後述のショートカットキーCtrl+W)で切手画像と参考画像を表示できます(上の図12)。黄色の行はその行の切手と参考画像が表示されていることを表し、緑色の行は次の表示候補切手の行を表しています。

3. 検索シート

このシートがmainのシートで、ほとんど作業がこのシートで行うことになります。このシートを選択すると図13の画面が表示されます。図13の●左の長方形はマクロの作業内容を表示したボタンです。この

図13 検索シートの初期画面

資料 下のセルに検索語をスペースで区切り入力 検索対象数 0枚

9語まで

検索語別表示

初期化

検索終了後、内容の確認のため表示します。

検索語数 1 ヒット数 0

セル位置で CTRL + W で 資料画像表示、CTRL + E で 全入力内容表示し、データ修正可能

黄色セルは画像のDATA みどりセルは次候補

No.	検索対象	画像FILE1	画像FILE2	種類	額面	発行年	切手の通称	意匠	KEYWORD01	KEYWORD02
41	対象	記0743.jpg	記0743資料	特殊切手	100円	1977年	第2次国宝シリーズ	雲中供養菩薩藏	仏像	平等院鳳凰堂
102	対象	記1794-10.jpg	記1794-10資料	特殊切手	80円	2001年	第2次世界遺産シリーズ	平等院雲中供養菩薩	鳳凰	国宝
	対象	通常0407.jpg	通常0407資料	普通切手	600円	1981年	花・貝・文化財切手	広隆寺弥勒菩薩	木清(赤松)	淡路島弥勒菩薩半跏思惟像

図13 検索シートの初期画面

図14 検索シートで作業結果画面

資料 下のセルに検索語をスペースで区切り入力 検索対象数 259枚

9語まで

検索語別表示

初期化

検索終了後、内容の確認のため表示します。

検索語数 3 ヒット数 3

セル位置で CTRL + W で 資料画像表示、CTRL + E で 全入力内容表示し、データ修正可能

黄色セルは画像のDATA みどりセルは次候補

No.	検索対象	画像FILE1	画像FILE2	種類	額面	発行年	切手の通称	意匠	KEYWORD01	KEYWORD02
41	対象	記0743.jpg	記0743資料	特殊切手	100円	1977年	第2次国宝シリーズ	雲中供養菩薩藏	仏像	平等院鳳凰堂
102	対象	記1794-10.jpg	記1794-10資料	特殊切手	80円	2001年	第2次世界遺産シリーズ	平等院雲中供養菩薩	鳳凰	国宝
	対象	通常0407.jpg	通常0407資料	普通切手	600円	1981年	花・貝・文化財切手	広隆寺弥勒菩薩	木清(赤松)	淡路島弥勒菩薩半跏思惟像

図14 検索シートで作業結果画面

ボタンをマウスでクリックすることで表記された作業が始まります。

■が入った水色セルに検索したいキーワードを入力します。インターネット・エクスプローラー等と同じく文字間にスペース（全・半角ともOK）を入力して検索語を増やします。必要性は疑問ですが、9 検索語までは入力可能です。

例として、国宝で京都に存在する仏像、菩薩が描かれた切手を検索してみます。図 14 は ■ のおかれた水色セルに京都 仏像 菩薩と入力し、●の左の「AND 検索」ボタンをクリックした結果の画面です（図 14）。3 種の切手が該当したことを示しています。この結果を印刷したければ EXCEL 本来の印刷機能で印刷できます。ここでも画像を確認したい切手の行のセルをクリックして、ショートカットキー（Ctrl+W）で切手画像がみられます。水色セルの下の小さなセルには検索語が確認できるように表示されます。そして、そのセルの色は該当した項目のセルにもその色が表示されています。

ここで、もしも「OR 検索」ボタンをクリックしたら、3つの単語、別々に該当する切手データを表示します。次に「全画像見る」ボタンをクリックすると該当した切手がすべて表示されます。その表示されるシートが次の検索画像シートです。

4. 検索画像シート

検索で該当した DATA の画像のうち C 列の画像 FILE 1 に入力された画像 FILE が 4 列に整列、表示されます。「OR 検索」結果画像の一部が図 15 になります。画像切手上部に 3つの項目内容が表示されます。これは A、I、J 列に入力された文字列を表示します。

お気づきのように切手のサイズが実物と異なります。これはサイズの異なる画像を規則正しく表示するため縦のサイズを一定のサイズに固定し、横サイズはそれに見合ったサイズに補正されているためです。そのため縦長切手は小さく、横長切手、普通切手などは大きく表示されています。切手画像はどの



図 15 「全画像見る」ボタンクリックで表示画面

シートでもマウスのドラッグでズーム操作が可能です。ズームの仕方を2つ知っておいてください。まず、図 16 のように画像1つのズームの仕方です。表示された画像をクリックすると画像に8つの円が出ます。この円をマウスでドラッグすると画像のズーム操作できます。もう一つは画面全体のズーム操作です。CTRL キーを押しながらホイールを回転すると画面全体がズームイン、ズームアウトができます。これらは WINDOWS 本来の機能です。このように WINDOWS の機能を知れば知るほど便利なのがわかります。図 17 は検索画面シートを操作したものです。

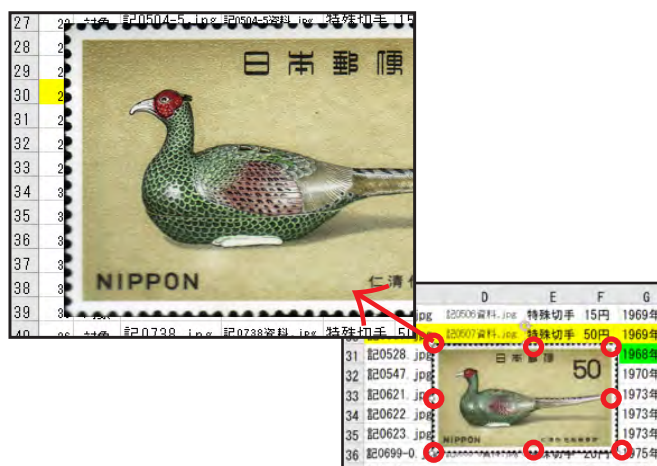


図 16 丸の一つをドラッグすることでズームイン



CTRL キー押しながらマウスホイール前回転でズームイン

図 17 図 15 画面のマウス使用でのズームイン画面

5. ノイズシート

このシートは検索シートの「ノイズ除去」ボタンを押した結果が表示されるシートです。ノイズとは「京都」で検索すると東京都が、「城」で検索すると、宮城県、茨城県が入力された DATA が紛れ込んでヒット表示してしまいます。それらを避難、消去させ、参考までに保存しておくシートです。誤りでなく紛れ込んだしまった DATA をこの検索作業の時だけ、消去することを目的としています。修正、訂正することを目的とはしていません。このプログラムの NOT 検索ができない欠点を補うためです。

6. 補足修正 シート

このシートは1種の切手の画像と文字 DATA を一括確認しながら訂正、補足を行い、結果を元の文字 DATA に加えるシートです(図 18)。訂正、補足が終わったら、CTRL+M です。前述した CTRL+M の作業をし、元のシートに戻ります。

No.	検索対象	対象
画像FILE1	通常0377.jpg	
画像FILE2	通常0377資料.jpg	
種類	普通切手	
額面	400円	
発行年	1974年	
切手の通称	第4次ローマ字入り切手	
意匠	天灯鬼・仏像・仏具	
KEYWORD01	興福寺	
KEYWORD02	天燈鬼〔てんとうぎ〕・竜燈鬼〔りゅうとうぎ〕	
KEYWORD03	康弁〔こうべん〕(運慶の三男)	
KEYWORD04	資料準備	
KEYWORD05	国宝	
KEYWORD06	奈良県	
KEYWORD07		
KEYWORD08		
KEYWORD09		
KEYWORD10		
KEYWORD11		
KEYWORD12		
KEYWORD13		
KEYWORD14		
KEYWORD15		
KEYWORD16		
KEYWORD17		
KEYWORD18		
KEYWORD19		
KEYWORD20		
メモ	西金堂須弥坊前面に安置されていた像で、四天王像に踏みつけられる邪鬼(じやく)を独立させ、仏前を照らす役目を与えた。天燈鬼像は、2本の角と三つの目を持ち、口を大きく開き、やや横目で前方をにらみ、左肩に乗せた燈籠を左手で支える。龍燈鬼像は腹前で左手で右手の首を握り、右手は上半身に巻きつけた龍の尻尾をつかみ、頭上に乗せた燈籠を上目づかいににらむ。像内に建保3年(1215)に法橋(ほつきょう)康弁が造ったとする書きつけがあるという。阿・吽・赤・青・黒・静が対比的	

図 18 補足修正シート 画面

7. 画像 FILE 集合 初期化 ボタン

シート説明でふれて無いボタンが2つあります。2つとも検索シートにあり、1つは「画像 FILE 保存」ボタンです。検索された切手の画像を資料作成などに使おうとすると、フォルダー内の多くの FILE から探すのは大変です。そんな時に、このボタンをクリックすると、目的 FILE が集まります。例えば、前述の AND 検索でヒットした3枚の切手を集めてみます。図 14 の画面の「画像 FILE 保存」ボタンをクリックすると、図 19 の窓が開き、保存したことを確認します。これは検索語のフォルダーを切手画像フォルダー内に作り、中に切手3枚の画像と資料画像をコピーし保存したことを表示しています。



図 19 検索ヒット切手画像 FILE の保存表示

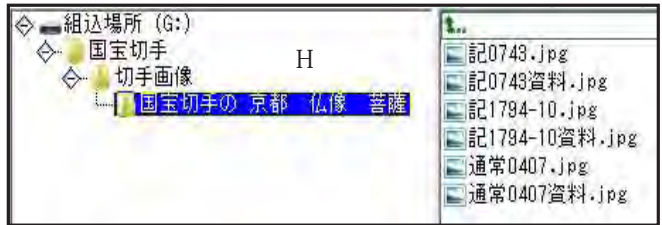


図 20 保存場所の階層的表示

これを階層的に図示すると図 20 のようになり、検索語フォルダーに画像 FILE の存在が明らかにされ、利用が楽にできます。

最後は「初期化」ボタンです。一つの検索作業を終り、次の検索作業の前に押します。入力語と出力した DATA をすべて消し、次の検索語入力を待つ画面にします。

8. ショートカットキー

ボタンでなくキーボード操作で所定の作業をするショートカットキーをいくつか用意しました。

① CTRL+W

資料 DATA シートでふれましたが、文字 DATA の指定した行の画像を表示する。文字 DATA 行列で確認したい DATA 行のセル(列は問わず)で CTRL+W 操作で画像が表示できます。対象となる DATA の行は黄色に変化し該当行を表示し、緑色行が次の CTRL+W 操作の候補 DATA であることを示します。資料 DATA シート、検索シート、ノイズシートで操作できます。

② CTRL+E

CTRL+W と同じく操作する時の DATA 行を補足修正するときに操作します。補足修正シートに移り全 DATA と画像を確認しながら DATA を修正できます。やはり、資料 DATA、検索シートで操作できます。

③ CTRL+M

補足修正シートで修正等を終わった結果を資料 DATA、検索シート に反映させることができるショートカットキーです。必ず CTRL+E を押したシートに戻ります。資料 DATA シートで押された CTRL+E の場合の CTRL+M は必ず資料 DATA シートに修正するために戻ります。そして、検索シートで CTRL+E を押された場合は資料 DATA シートの DATA を修正し、さらに検索シートの表示 DATA も修正します。CTRL+M は補足修正シートだけで操作できるショートカットキーです。

④ CTRL+Q

資料 DATA シートの文字 DATA はすべてプログラムで変数になります。変数とは EXCEL の表から PC の記憶領域に組み込むことで作業が早くなります。時々、プログラムにエラーが生じると、この変数が全て空っぽになってしまいます。その時、この CTRL+Q 操作を

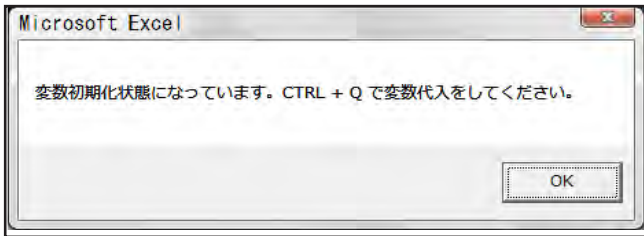


図 21 変数の新規読み込みを促す窓

するように指示が表示されます (図 21)。OK をクリックし、CTRL+Q を操作して下さい。

CTRL+M 操作で DATA を修正したつもりでも、修正できたのは EXCEL の表の上だけであって、PC が記憶しているのは修正前の DATA です。しかし、検索作業をするたびに変数を更新し、最新の EXCEL の表 DATA を変数にします。

作業中のエラー

検索作業をしている途中で、作業がストップすることがあります。一番多いのが図 22 が表示されてのストップです。これは画像 FILE が見つからないと告げています。画像 FILE が所定のフォルダーにないのです。終了をクリックして作業を終了させます。そして、該当画像 FILE を探し、切手画像フォルダーの確認とそこへの保存有無を確認し、再度、同じ作業をして下さい。

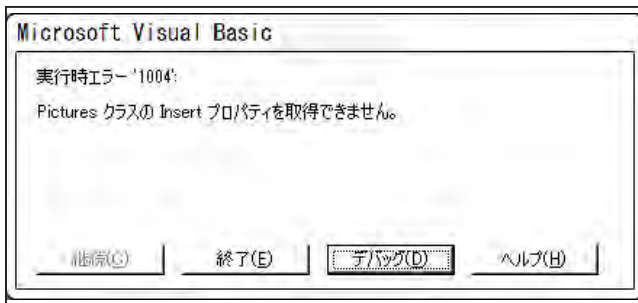


図 22 マクロが画像 FILE 不明を告げるエラー表示

作業を終わり、DATABASE を閉じようとするとき図 23 が表示されます。これは画像 FILE を表示したまま DATABASE を保存すると DATABASEFILE が非常に大きくなり入出力に時間を要したり、支障が生じることを避けるためです。ヒットした DATA 行列、出力した画像等はすべて消されて、資料 DATA シートの文字 DATA が保存されるだけです。

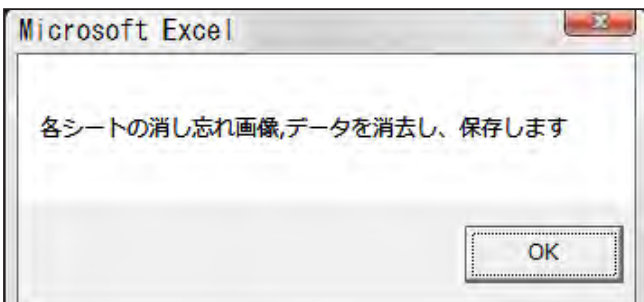


図 23 作業終了時に表示される窓

利用してほしい操作

EXCEL に慣れた方は読み飛ばして下さい。

◎シート保護の解除

作業していてセルの内容、画像位置等を変えようとしてクリックすると図 24 の表示が出る場合があります。これは今の画面のシートに間違った DATA が入力されるのを防ぐため保護をしていると告げています。



図 24 シートの保護を告げる表示

必要な時は保護を解除して作業が出来ます。画面上部のリボンメニューのホームそして書式をクリックすると下に新たなメニューが表示されます (図 25)。その中の下のシート保護の解除をクリック、これで保護は解除されます。

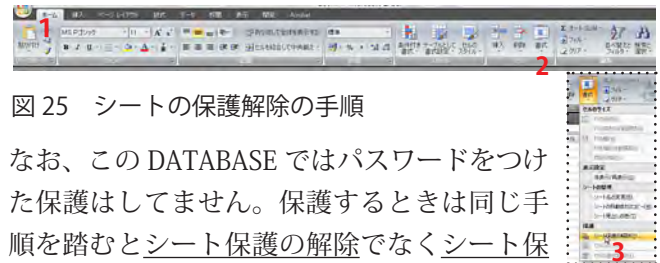


図 25 シートの保護解除の手順

なお、この DATABASE ではパスワードをつけた保護はしてません。保護するときは同じ手順を踏むとシート保護の解除でなくシート保護がありますから、そこをクリックして下さい。

◎列幅、行高の調整

KEYWORD の内容によっては列幅が足りない時、列幅を広げたり、狭める時は列幅を調整できます。まず、シートが保護されていないことを確認した上で図 26 のように表の上部のアルファベット部分にカーソルを当て、境目の線に当てるとカーソルが変化します。C 列を広げる時、↓印を C 列の右側の線に合わせるとカーソルが ⇨ に変わりますので左右に動かして調整します。調整したい列の右側の境目が目的場所です。

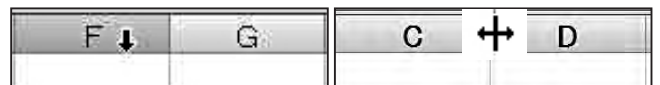


図 26 列幅を変える手順

行の高さの変更も同じ様にできます。左側の数字の欄にマウスを動かすと、図 27 のようにマウスカーソルが → 印になり、更に数字の境目に当たるとカーソルが ⇩ に変わり上下に動かすと行の高さが変わります。高低は目的行の下の方の境目です。

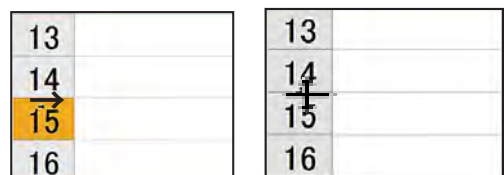


図 27 行の高さを変える手順

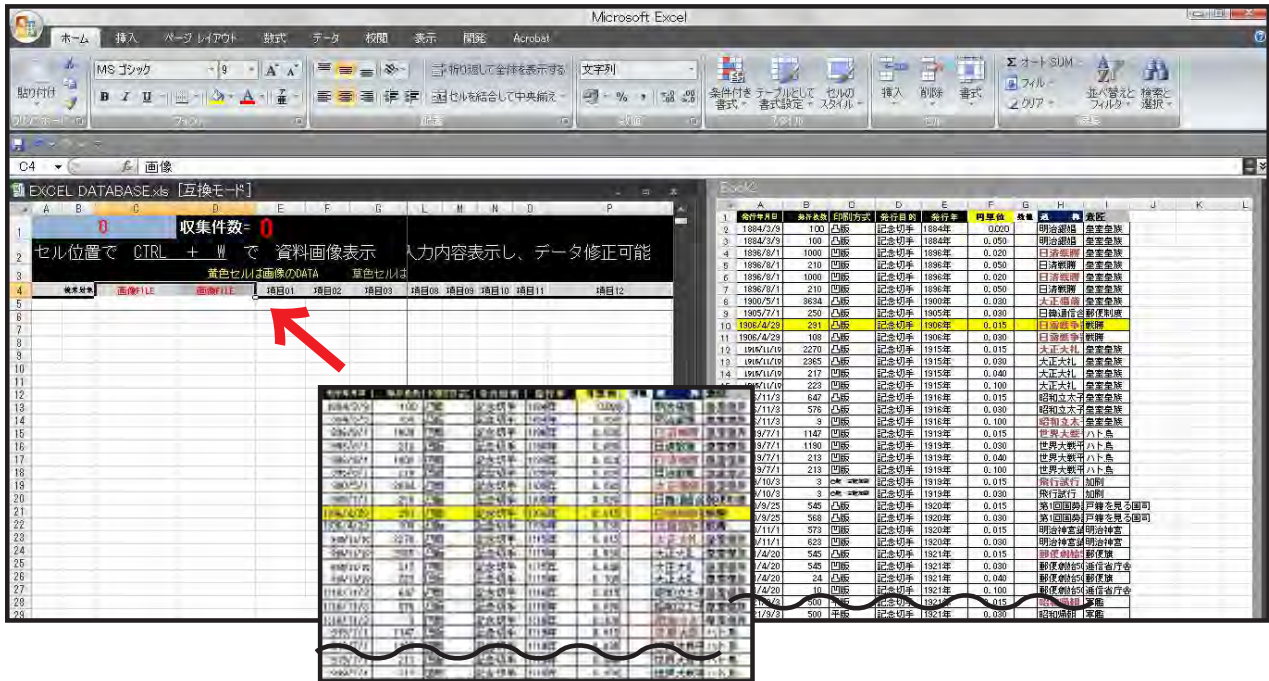


図 28 右画面 DATA を左の FILE 画面へコピー

使用中の DATAFILE の利用

現在使用中の DATA を利用できないかと、疑問を持たれると思います。EXCEL に記録された DATA であれば、100%可能です

多くの場合、今回の DATABASE と同じく、行に個々の切手 DATA、列に切手の内容項目が入力されたものだと思います。入力済み DATA をコピー&ペーストすればよいのです。ただし、DATA 資料シートの A ~ D 列には写さないでください。基本番号、検索有無の項目とは検索は不要だが記録はしておきたい、例えば、切手シートなどですが、この項目 B 列を空欄にしておけば検索にかかりません。

ペーストの方法は既存の FILE と DATABASE を同時に開き、画面の左右に同時に開いておきます。(図 28)。右画面で A1 セルから I600 セルまでをコピーするとします。まず、A1 セルをクリックし、画面を上昇させ、SHIFT キーを押しながら I600 セルをクリックし、CTRL+C を操作 (コピー)、左の画面の E4 セルをクリック CTRL+V (ペースト) で完了です。(CTRL+C、CTRL+V は WINDOWS のショートカットキー) ここで注意してほしいのは項目までもコピーしていることです。項目名は自由に決めてよいのですから、そのままコピーしても支障はありません。

EXCEL 本来の機能を活用

EXCEL には非常に多くの優れた関数と機能があります、これを利用して DATABASE 作成に活用すれば有効です。

例えば、切手発行日を入力してあれば、年だけを取り出したり、漢字入力と同時にひらがな入力が同時進行し、しかも、頭音も入力されていることなどができます。また、多くの DATA をいくつかの項目を関連させて並び替え、国別、発行年、切手種類、を絡めて並び替えることなど簡単、あまり必要はないかもしれませんがクロス集計など、とても手軽にできます。切手をまとめて考えてみるなどに使用して見ては如何でしょう。DATABASE を利用して、私はアルバム作成でない別の切手収集の楽しみ方をしています。切手からその国々の文化を比較するのも興味深く感じます。オーストリア切手から考える一切手による比較文化笑論一などを考えることができました。

(<http://www12.plala.or.jp/kawayu/postagestamp/O12stamps.pdf>)

一つ大切なことがあります。DATABASE 作成の目標をはっきり持ってはじめてください。DATABASE 作成が目標となって、やみくもに詳しいもの、DATA 数の多いものを作ることが目標では本末転倒です。

ぜひ、DATABASE を使うことで切手収集の視野、深さ、楽しさを広げてください。